

森林科学の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

森林科学科では、東北地方の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用について総合的に学習し、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成することを目的として、以下のカリキュラムを編成している。

(知識・理解)

1. 数学、自然科学、情報処理に関する基礎的知識を獲得するため、1、2年次に教養教育科目の技法知科目(情報科目)、学問知科目(自然&科学技術)及び学部専門基礎科目の履修を促している。
2. 森林科学の学問内容と方法を説明できるようにするため、専門重点科目に森林学・森林工学、自然環境学、林産学に関する基礎的な授業・実習科目群を配置し、2、3年次の履修を促している。

(思考・判断)

3. 森林の多面的機能について、総合的に考えることができるようにするため、専門重点科目に「野生動物管理学」、「森林政策学」、「砂防学」などの応用的な授業科目群を配置し、2、3年次の履修を促している。
4. 与えられた制約の下で計画的に仕事を進められるようにするため、専門重点科目に「森林造成学実習」、「森林計測学実習」、「林道工学実習」などの野外実習科目群を配置し、3年次の履修を促している。

(関心・意欲)

5. 地球的視点から各地の文化や異なる価値観に関心を示すようになるため、1、2年次に教養教育科目の学問知科目と技法知科目(外国語)の履修を促している。
6. 自主的・継続的に学修できるようにするため、専門重点科目全般で自己学習時間の確保を促すとともに、宿題を特に重視する科目として、専門基礎科目の「生物統計学」、専門重点科目の「森林計測学」を配置し、1、2年次の履修を促している。

(態度)

7. 技術者倫理を感じられるようにするため、学部共通科目の「農学のための倫理学」、「インターンシップ」の履修を促すとともに、専門重点科目に「海外・日本の林業」、「森林科学応用演習I」を配置し、3年次の履修を促している。
8. チームワークを意識して行動できるようにするため、専門重点科目に「森林科学基礎演習」、「森林測量学実習I・II」、「森林科学研修」を配置し、1年次から2年次の履修を促している。

(技能・表現)

9. 日本語で論理的に記述・発表・討議できるようにするため、1年次に教養教育科目の転換教育科目と専門重点科目の「森林科学入門」の履修を促している。
10. 森林科学の知識を利用し、社会の要求を解決するために提案できるようにするため、専門重点科目に「森林科学応用演習I」、「森林科学応用演習II」、「卒業研究」を配置し、3年次後期から4年次の履修を促している。